

運輸総合研究所 第137回運輸政策コロキウム ～講師ご紹介～

講師：マハルジャン ラジャリ 運輸総合研究所 研究員

【学歴・職歴】

- ネパール初の大学であるトリブバン大学(Tribhuvan University)を卒業後、同大学非常勤講師、建設会社エンジニアとして勤務した後、来日。2018年東京工業大学大学院理工学研究科（国際開発工学専攻）の博士号(工学)取得。
- 現在は明治学院大学にて非常勤講師を務める傍ら、2020年1月より運輸総合研究所研究員。

【専門分野・研究テーマ】

- 物流、サプライチェーンマネジメント、防災、災害時における物流

【受賞】

- 国際的に権威あるInternational Transport Forum（ITF）のAward2020でTop 4に選ばれた。その他、英国の学術出版社Emerald PublishingによるEmerald Literati Award2019に選ばれる等、数々受賞。



運輸総合研究所 第137回運輸政策コロキウム 「持続可能性を考慮したサプライチェーン構築」

International Transport Forum (ITF) とは…



Global
dialogue
for better
transport

【概要】

2006年、欧州の交通大臣が集うECMT（欧州運輸大臣会合）から、グローバルな組織に改組する形で設置されました（現在62か国が加盟）。交通政策に関するハイレベルかつ自由な意見交換を行うとともに、交通に関する調査研究活動を行っています。

【組織・構成】

（1）構成

年1回の交通大臣会合（ITFサミット:近年はライブツヒにて開催）に各国の交通担当大臣、企業経営者、有識者等が参加しています。また、年2回開催される交通運営理事会には各国の政策責任者等が参加しており、日本からは国土交通省総合政策局の課長級等が参加しています。

（2）議長、副議長

議長・副議長国は1年交代となっており、2021年の交通大臣会合に向けた議長国はアイルランド、副議長国は、モロッコ及び英国です。

（3）オブザーバー

ブラジル、EC、UNECE、UNESCAP

（4）下部組織

交通運営理事会（TMB）、交通大臣会合の内容等について検討を行うタスクフォース（TF）、交通研究委員会（TRC）、コーポレート・パートナーシップ・ボード（CBP）

